

■狛江市第4次基本構想（素案）に対するパブリックコメント及び市民説明会の実施結果について

1 実施期間

令和元年5月15日（水）から6月14日（金）まで

2 意見提出者数

9人

3 意見提出数

15件

4 市民説明会

	日時	場所	参加者数
第1回	令和元年5月18日（土）午前10時から	市役所4階 特別会議室	10人
第2回	令和元年5月22日（水）午後7時から	市役所4階 特別会議室	4人

## 5 意見（要旨）及び意見に対する回答

※いただいた意見の趣旨が変わらない範囲で要約しています。

※複数の意見をいただいた場合は分割している場合があります。

		意見（要旨）	回答（案）
全 体	1	全体的に、もう少し具体的に踏み込んで記載しても良いのではないか。	<p>基本構想は、市の目指すべき将来像やまちづくりの方向性等を全体的に示すものであると捉えていることから、御意見のとおり、具体的ではなく、踏み込んだ記載になっていないと感じる部分はあろうかと思います。</p> <p>より具体的な事業等の記述については、今後策定する基本計画や実施計画の中で示してまいりますので、これらの計画を策定する際の議論の参考とさせていただきます。</p>
	2	優先順位が分からない。 何でもかんでもやるというより、重点的に取り組むテーマが何か分かるようなものが良いと思う。	<p>御意見のとおり、「優先順位」や「重点化」の考え方は、これからの自治体経営において必要不可欠であると考えています。</p> <p>基本構想は優先順位を設定するものではなく、市の目指すべき将来像やまちづくりの方向性等を全体的に示すものであると捉えています。そのため、御意見については、基本計画を策定する際の議論の参考とさせていただきます。</p>
狛 江 市 の 将 来 都 市 像	3	2ページの「狛江らしさ」は過去を指し、4ページの「狛江らしさ」は将来に向けてであると解釈した。その場合、同一の言葉で表現することが適切なのか、議論の余地があるのではないか。	<p>2ページ及び4ページの「狛江らしさ」という言葉について、どちらも同じ意味として捉えています。</p> <p>「狛江らしさ」については、時代が移り変わっても変わらない狛江市の特性や魅力を表していますので、これまで脈々と受け継がれ、また、これからも引き継いでいくものとして捉えています。</p>

		意見（要旨）	回答（案）
まちづくりの視点	4	<p>「まちづくりの視点」に「狛江らしさを活かす」という項目があり、改めて狛江らしさについて考える機会となった。</p> <p>狛江ブランド農産物は日々いただいているが、古墳や史跡についてはよく知らず、特別緑地保全地区があること等も知らなかった。</p>	<p>基本構想では、狛江ブランド農産物とともに、古墳や史跡、狛江弁財天池特別緑地保全地区等についても「狛江らしさ」の一つとして捉えています。</p> <p>より多くの方に知っていただくため、「狛江らしさ」を効果的に発信することで、愛着や誇りを持てるまちづくりを目指してまいります。</p>
	5	<p>まちづくりの視点の一つである「狛江らしさを活かす」について、例えば「女性らしさ」という言葉に対し、女性側から『女性らしさとは』何かと違和感を訴えられるケースがあるようである。市の目指す姿を示す基本構想において、「狛江らしさ」という言葉では曖昧で答えになっていないのではないか。これ以降の文章を読めば、具体的な「狛江らしさ」の中身が示されているが、表題でこれを表現することが必要ではないか。</p>	<p>「狛江らしさを活かす」というまちづくりの視点の表題を見ただけでは、御意見のとおり、「狛江らしさ」が具体的に何を指しているか見えづらい点はあるかと思います。</p> <p>基本構想の文中で示しているとおり、「狛江らしさ」は一つではなく、コンパクトさや都心からの交通の便が良い上に、多摩川や野川、狛江弁財天池特別緑地保全地区や屋敷林等の「水と緑」が豊かであること、狛江ブランド農産物の生産、市内に数多くの古墳や史跡が点在していること等の様々な特性や魅力を表しています。それら全てを表題で列挙することはできないため、まとめる必要があり、「狛江らしさ」として整理したところです。</p>
分野別のまちの姿・その他	6	<p>3世代で住んでいる方々の話を伺うことも多く、安心して暮らせるまちだと普段から感じている。</p> <p>素案の中に、市民が主体となるまちを目指すということが示されているのを読み、自分たちにもできることがあるかその都度考えてみようと思う。どの年代でも活躍している狛江や、自然豊かな狛江が続いてほしいと思う。</p>	<p>御意見いただいたまちを目指すため、「1 人権が尊重され、市民が主役となるまち」、「2 安心して暮らせる安全なまち」、「5 いつまでも健やかに暮らせるまち」、「7 自然を大切にし、快適に暮らせるまち」を中心に、各分野のまちづくりを進めてまいります。</p>
	7	<p>8つの分野別のまちの姿の順番はどのように捉えているか。番号が振ってあると、順列であるようなイメージを受けるが。</p>	<p>御意見のとおり、分野別のまちの姿に番号が振られていることで、順列であるといったイメージを受けるかもしれません。</p> <p>番号については、整理上の分類を行うため、便宜上記載しているものであり、番号の並びで順列であるといった考えはありませんので、総合的に各分野のまちづくりを進めてまいります。</p>

	意見（要旨）	回答（案）
8	<p>「安心して暮らせる」、「いつまでも健やかに暮らせる」等の理念や理想は良いと思う。</p> <p>ただし、和泉多摩川緑地都立公園の構想には反対である。老後の終の住処を都立公園にされては、安心して暮らせない。</p>	<p>和泉多摩川緑地における都立公園化については、基本構想に記述はなく、また誘致の考え方については別に議論すべきものであると捉えています。</p> <p>なお、現在は東京都と都市計画区域の変更や役割分担等を協議しているところですが、都市計画道路との重複や境界が地形地物で区切られていない等、整理すべき課題があるところです。これらの課題の整理ができた段階で、改めて市民の皆さんと意見交換の機会を設けさせていただきたいと考えています。</p>
9	<p>「8 持続可能な自治体経営」については、非常に具体的であり、1～7のまちの姿と比較して違和感がある。</p>	<p>1～7のまちの姿と比較して違和感があるという御意見についてですが、「8 持続可能な自治体経営」については、主に行政の視点に立った内容を記載しています。そのため、御意見のとおり、他の分野別のまちの姿と比較すると少し異なった印象を受けるかもしれません。</p> <p>将来都市像を実現するため、「8 持続可能な自治体経営」も必要なまちの姿であり、他の分野別のまちの姿と並行して、総合的にまちづくりを進める必要があると考えています。</p> <p>また、具体的であるという御意見を踏まえ、「民間委託の推進」を「公民連携」とすることで、文章の意味に広がりを持たせる修正をいたしました。</p>
10	<p>「8 持続可能な自治体経営」において、持続可能な自治体経営を目指す」と記載しているが、より具体的な政策には言及していないように思われる。</p> <p>「1はじめに」で現状認識がなされているとおり、第4次基本構想の計画期間の早いうちに狛江市の人口は減少に転じ、少子高齢化による人口構造の変化による社会保障費の増大や税収の減少等、財政的にも大きな影響が生じることが想定される。そうした状況を踏まえ、持続可能な自治体経営に直結する政策として、「発生主義に基づく会計情報の積極的活用」といった内容にも言及してはどうか。</p>	<p>狛江市においても、発生主義・複式簿記の導入等により、客観的かつ比較可能性を担保した統一的な基準による財務書類について、平成28年度決算から作成及び公表しています。また、その活用についても、今後の検討課題の一つとして捉えているところです。</p> <p>御意見については、具体的な内容であることから、基本構想よりも基本計画の策定の際に議論すべき内容と捉えています。そのため、基本計画策定の際、「8 持続可能な自治体経営」等における議論の参考とさせていただきます。</p>

	意見（要旨）	回答（案）
11	<p>小菅村との協力のような他地域との密接な連携、歩行者・自動車・二輪車の効率的で安全な共生のための施策の推進、LGBT・ジェンダーカテゴリーの柔軟かつ積極的な対応等、具体的で実際に効果が持続的に目に触れる分かりやすい結果を伴って市民の同意の得られる考えを期待する。</p>	<p>御意見については、各分野のまちづくりを推進する上で、重要な視点の一つと考えられます。</p> <p>具体的な内容であることから、基本構想よりも基本計画の策定の際に議論すべき内容と捉えています。そのため、基本計画策定の際、「1 人権が尊重され、市民が主役となるまち」、「3 活気にあふれ、にぎわいのあるまち」、「7 自然を大切にし、快適に暮らせるまち」等における議論の参考とさせていただきます。</p>
12	<p>8つの「分野別のまちの姿」の全てに関係するが、具体的施策を実施する上で必要なことは、施策を実施できるだけの財源を準備することに尽きると考える。この前提で読むと、例えば「8 持続可能な自治体経営」において、「限られた財源の中で」との記載があり、少々違和感を覚えた。何らかの施策を考える場合、「少ない財源で賄う」という発想ではなく、「いかに財源を増やした上で実施するか」ということをまずもって検討すべきである。この辺りは民間企業に勤務する者としては常々考える重要な点であり、是非とも自ら限界を設定せず、目標をどうしたら実現できるか、どうしたら限界を突破できるかという視点で再考いただきたい。</p>	<p>御意見にある「いかに財源を増やした上で実施するか」という歳入確保の視点は、持続可能な自治体経営を目指す上で大切な視点であると考えています。また一方で、長期的な財政見通しを持つことも大切であると考えています。</p> <p>以上のことから、御意見を踏まえ、「長期的な財政見通しを持ちつつ、様々な工夫を凝らしながら財政基盤の強化に努める」と記述を追加しました。</p>

	意見（要旨）	回答（案）
13	<p>狛江市は全国の市の中で2番目に小さいため人口が相対的に少なく、また全国的な少子高齢化の流れは狛江市においても同様であり、何もしなければ財源は頭打ちであることは私も認識している。他方で、都心にもほど良く近く、水と緑が豊富で、犯罪も少ない町という魅力が狛江市にはある。このようなメリットも活かしながら8つの「分野別のまちの姿」を実現するための財源確保のため、以下の二点を基本構想の中に入れることを提案する。</p> <p>① 狛江市への大手企業誘致</p> <p>財源の確保に最も寄与する対策の一つは企業の支払う法人市民税や企業活動に付随した地域経済の活性化であると考えている。所得の多い住民がいることも税収にメリットはあるが、大手企業の支払う法人税や当該企業による活動に伴う恩恵の方がより大きいものとなり、狛江市の財源を潤し、地域の価値を上げ、住環境の活性化につながると考える。</p> <p>そこで、今後10年間の基本構想として、一つでも多くの大手企業を狛江市へ誘致すべきであることを提案する。</p> <p>そのための施策として、種々の優遇策を検討してはどうか。法人市民税そのものの優遇は少々難しいと思われるが、例えば、用地購入や貸与のサポート等の充実、企業の社宅建設のサポート等は可能なのではないだろうか。今後、生産緑地の指定解除の時期を迎え、ある程度の土地が市場に出てくると思われ、また、狛江市にも少なからず空家があると認識しており、今後も増えてくることが予想される。そうした空家を整理し、社宅等に活用することも検討の余地があると考え。さらに、狛江市が保有している不動産を積極的に活用することも視野に入れるべであると思う。</p> <p>なお、上記のような施策を実施する上では、種々の経験やノウハウも必要と考える。狛江市の担当者にそのような知見があればこれ以上ないことであるが、例えば、既に退職した企業の総務部門出身者の方を雇用し、その方の経験やノウハウを活かすということも検討してはどうか。退職しても元気で、労働意欲のある方は多くいると思われるので、このような施策は互いに</p>	<p>御意見については、各分野のまちづくりを推進する上で、興味深い視点と受け止めています。</p> <p>具体的な内容であることから、基本構想よりも基本計画の策定の際に議論すべき内容と捉えています。そのため、基本計画策定の際、「3 活気にあふれ、にぎわいのあるまち」、「7 自然を大切にし、快適に暮らせるまち」、「8 持続可能な自治体経営」等における議論の参考とさせていただきます。</p>

Win-Win の関係を作れるのではないかと思う。

② 狛江駅西口の新設・急行の停車

多くの人を狛江市に呼び込むことが財源確保の施策として重要と考える。そのための一つの方法として、狛江駅の西側にも改札を作るべきである。現在は東側に一つだけ改札があるが、西側にも改札を作ることで駅構内にも多数の施設を入れることができ、また、駅の西側から世田谷通りまでの区間においても商業施設等ができることが期待され、まちの活性化に役立つと考える。

幸い狛江駅の西側は駐輪場等になっており、西側を作るスペースは十分あると考える。また、狛江駅とあまり規模が変わらないと思われる和泉多摩川駅でさえ改札が両方あることから、狛江駅に改札を2つ作ることは非現実的ではないと思う。

加えて、①の企業誘致にも役立つが、狛江駅を急行停車駅にすることも重要と考える。昨年、狛江駅が準急停車駅となったことで、人口の増加等の一定の効果があつたと考えるが、これが急行停車駅となれば更なる魅力向上につながることは想像に難くない。

上記のような施策は、小田急電鉄との協議が必要と認識しているが、小田急電鉄にとっても狛江市が活性化し、鉄道沿線に人が増えることは歓迎すべきことであり、提案次第で要望を受け入れてくれる可能性は十分にあると考える。

	意見（要旨）	回答（案）
14	<p>私のまわりでも依然として保育園を必要としている家庭は多く、また、現在保育園に入ることができていたとしても、本当はより家に近い保育園に入りたいと思っている親もかなりの数いる。</p> <p>保育園を充実させることは（特に若い世代に対して）、狛江市の魅力を引き上げ、企業誘致に対して大きなメリットとなり、企業が誘致されることで保育園を充実させる財源ができるという好循環を作ることができる。</p> <p>また、将来子どもが少なくなり保育園が不要となった場合、老人ホーム等に活用ができるよう、建屋の構造を工夫しておくことで、より長期的な視点で資産活用ができる。</p>	<p>保育園を充実させることで、企業を誘致し、更に保育園を充実させる財源が生まれる好循環を作るという御意見については、各分野のまちづくりを推進する上で、興味深い視点であると受け止めています。</p> <p>なお、保育園の整備については、「待機児対策検討報告書（第3版）～保育園編～」に基づき、認可保育園を平成31年4月1日に1園開設し、令和2年4月1日にも2園開設する予定です。</p> <p>また、将来保育園が不要となった場合に別の用途で活用できるよう、長期的な視点を持つべきであるという御意見については、持続可能な自治体経営を目指す上で必要な視点であると考えています。そのため、「公共施設等総合管理計画」において、人口や財政状況等を踏まえながら、市民ニーズの変化にも対応できるよう将来的な転用を見据えた施設の整備について方針としています。また、御意見については、基本計画を策定する際の議論の参考とさせていただきます。</p>
15	<p>総論としては賛成であり、8つの「分野別のまちの姿」をぜひとも実現してほしいと思う。他方、目標を「どのように」実現するかという点の深掘りが必要であると感じる。基本構想であるため、各論は別途検討されていることと思うが、今少し手段に関する具体的な記載が必要ではないか。</p> <p>例えば、人権が尊重されるため、「市民が主役になるまち」を目指すところがあるが、そのためにはどうするのかという具体策が読み取れなかった。また、安全なまちを目指すため各機関や行政が一体となって施策を強化するところがあるが、どのような施策を実施するのか少々不明確であると思った。</p> <p>誰が、いつまでに、どのような対策を実施するかを市民に明確に提示する必要がある、PDCAを回していくことが重要である。</p> <p>より一層の具体的施策の検討・記載を検討していただければと思う。</p>	<p>基本構想は、市の目指すべき将来像やまちづくりの方向性等を全体的に示すものであると捉えていることから、御意見のとおり、手段に関する具体的な記載が不足していると感じる部分はあろうかと思えます。</p> <p>より具体的な手段等の記述については、今後策定する基本計画や実施計画の中で示してまいりますので、これらの計画を策定する際の議論の参考とさせていただきます。</p>